四日市市立水沢小学校
学校だより
ふれあい
令和６年２月　２日　　第５３号

昔の生活について考えました。（３年生）

１月26日(金)１，2限目に、昔の生活について考えました。七輪（簡便な土製のコンロ）に新聞を丸めて入れ、その上に木炭を並べて火をつけました。マッチで火をつけさせたかったところですが、今回はチャッカマンを使いました（**現在の子どもたちはマッチの使い方をあまり知りません。マッチに火がついたとしても、そこからどうやって紙に火をつけるのかがわからない子もいます**）。うまく火が移って木炭が燃え始めたところもありましたが、なかなか燃え移らずに苦労をしているグループもありました。昔の人は、本当に苦労をして火をおこしていたのですね。今回の授業では、そんな苦労を、体験を通して知ることができ、大きな収穫でした。

授業の後半では、七輪を使っておもちを焼きました。田植えをして稲を刈り取り、もみすりをしたもち米からおもちにしてあったものを5年生から分けてもらいました。七輪の火勢が強くなってきたグループは、１つずつおもちを網の上に乗せていきました。子どもたちは、おもちが「プクウー」っと膨らんでくるのをながめたり、焦げ目ができてきたのをひっくり返したりしていました。5年生から分けてもらった味付け用の「まっちゃ」「きなこ」「しょうゆ」の中からお好みの味をおもちにかけていただきました。「うまいっ」って言いながら、割りばしで口に運んでいました。おもちが新しくてよく伸びるので、食べる時に5cmぐらい伸ばして食べている子もいました。１人2個ずつ食べていましたが、お昼の給食は完食できたのでしょうか。「私たちは、食いしん坊だから大丈夫……」とは言っていましたが……。

現在、能登半島地震で多くの方々が苦しい生活を強いられています。電気やガス、水も充分に得られない状況の中で日常生活を過ごしてみえます。**自然災害はいつ起こるかわからず、私たち一人ひとりが常に対応を意識しておく必要があります。本日の学習のように、七輪を自分で使えるようにしておくことは、災害時においても非常に役立つことだと思います。**授業では扱いませんでしたが、「マッチをすってどうやって紙に火をつけるのか」、「どうやって炭を置いていくと火が燃え移りやすいのか」、といったことも、今後のために調べておくといいですね。

栄養教諭による授業がありました。（１，５年生）

公立小中学校には栄養教諭が配置されており、子どもたちに向けて、定期的に授業指導や給食指導を行っています。１月26日(金)には、１年生と5年生に向けて、栄養教諭による授業を行いました。その一部、内容を紹介します。

１年生は「はしを正しく使おう」というテーマで学習をしました。はしには、「つまむ」「はさむ」「まぜる」「きる」という使用用途があります。本日は、はしでマカロニをつかんで決められた場所へと移動する作業をしていました。最初は同じ○から違う○の中へ、次は１つずつ順番に決められた場所へと並べて移動させていました。最初は「はし」でつかむことができず、横へとずらしてマカロニを移している子もいましたが、はしの使い方のコツがつかめると、時間をかけることなく、マカロニをつまんで、指定された場所へと移動させることができるようになっていました。

5年生は「給食の栄養バランスを確認しよう」というテーマで学習をしました。給食は「エネルギーになるもの」「体をつくるもの」「体の調子を整えるもの」の3つの要素についてバランスが考えられ、毎日の献立が決められています。本時は、給食の献立(ビビンバ、牛乳、豆腐とわかめのスープが献立と仮定して)に使われている食品が、これら3つのうちの、それぞれどれにあたるのかを考え、個々がプリントへと書き込んでいました。

三重県内の郷土メニューやご当地メニューにどんな食材が使われているのか、一度調べてみるのもいいですね。

鹿(シカ)がよく見かけられています。体が大きいのでご注意を！

水沢地区の山あいには、鹿が群れを成して生息しています。母親と子どものペアで行動することもあれば、数十頭の群れになることもあります。私も夏に、宮妻地区のもみじ谷景勝地付近で鹿が十頭ほど群れているのを見かけたことがあります。**急に鹿に近づいたり、驚かせたりすると突然走り出すこともあり危険です。鹿を見かけても近寄らないようにお願いします。**（文責　北住　昌文）